

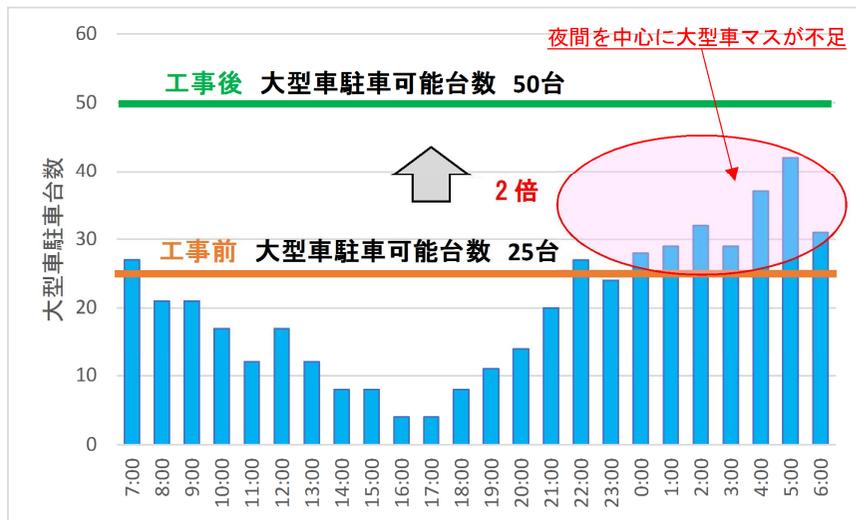
# 大型車の駐車マス不足への対応

- 深夜の時間帯を中心とした駐車場の混雑を緩和するため、大型車と小型車の両方がご利用可能な「兼用マス」を整備し、大型車駐車マスの拡充を進めています。
- 今回、下記に示すサービスエリア・パーキングエリアで、大型車の駐車マスを約170台拡充(オレンジ色で着色した箇所)することで、大型車マス不足が大幅に緩和されます。
- さらに約60台拡充する工事に着手(黄色で着色した箇所)します。

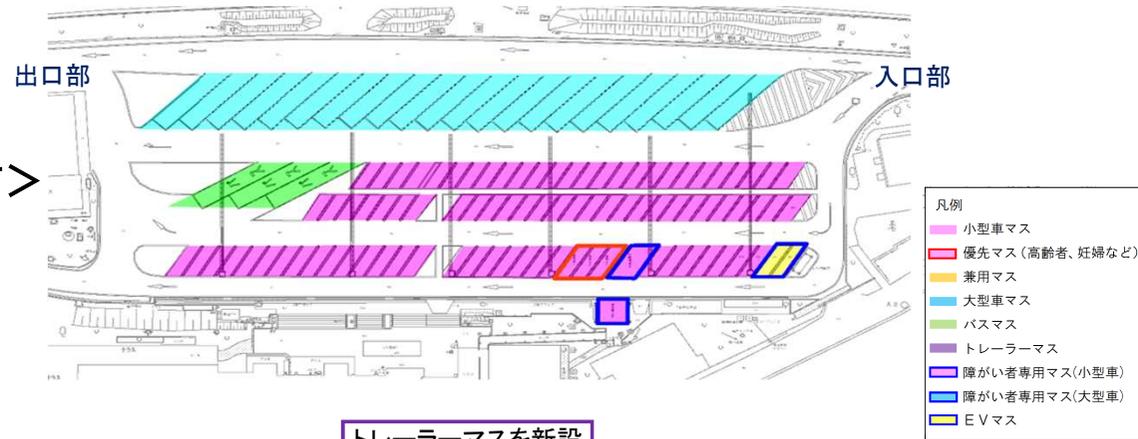


# 北陸道 尼御前SA(上り)の駐車マス拡充の事例

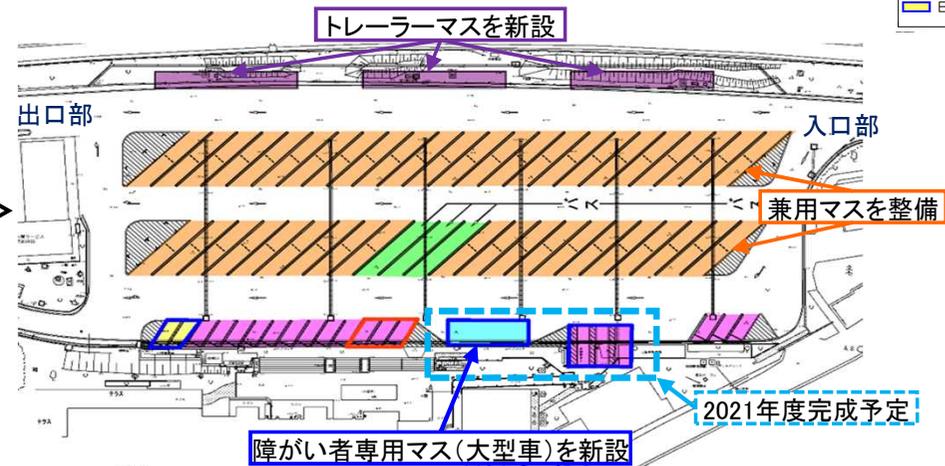
- これまでは、夜間を中心に大型車の駐車マスが不足していました(左のグラフ)。
- その対策として、大型車と小型車の両方が駐車可能な「兼用マス」を整備することで、大型車の駐車マスが2倍(+25台)に増え、小型車の駐車マスも約1.2倍(+17台)に増えました(右図のオレンジ色の部分)。
- 小型車マスを「兼用マス」として整備することで、小型車の少ない深夜の時間帯は大型車が「兼用マス」を利用するため、大型車の混雑が解消されます。また、昼間の時間帯は小型車が「兼用マス」を利用するため、小型車の混雑が解消されます。



<工事前>

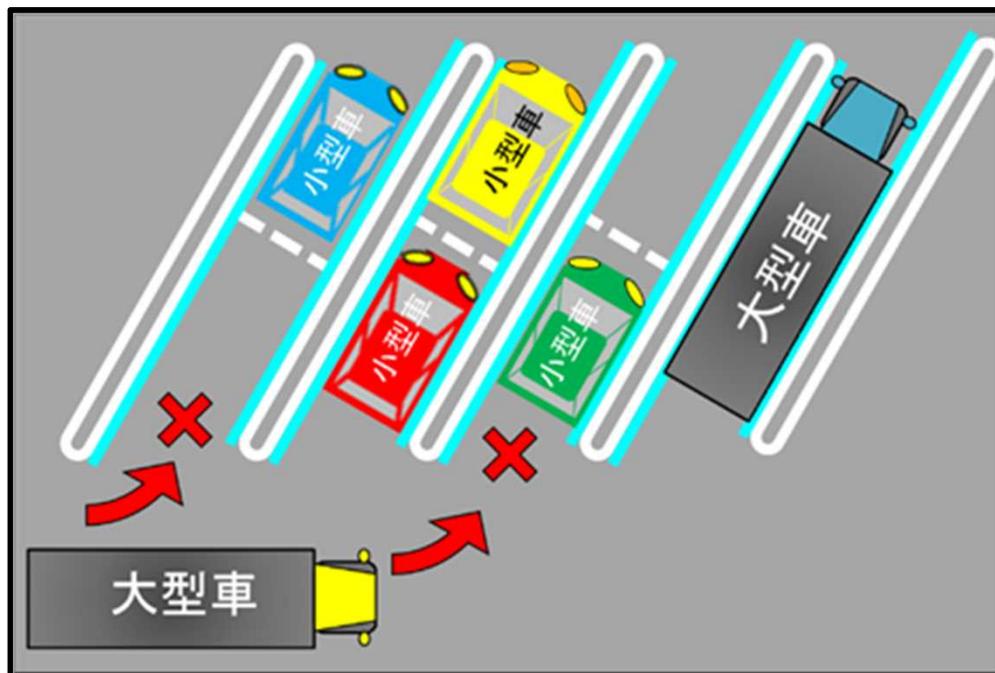


<工事後>

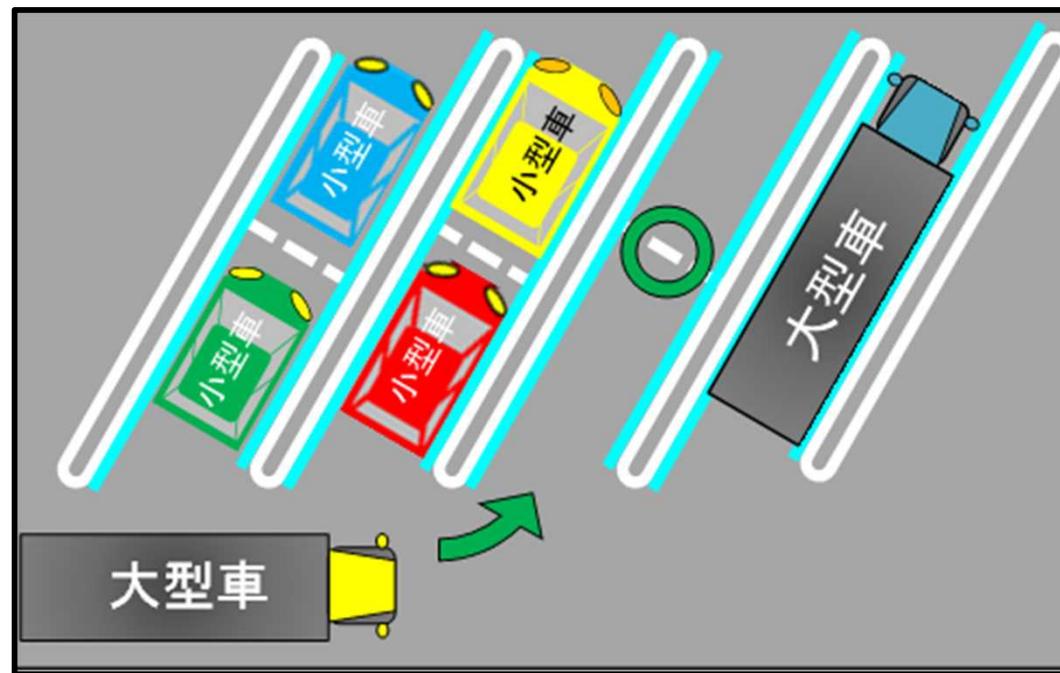


# 「兼用マス」のご利用方法について

- 「兼用マス」とは、小型車・大型車それぞれの駐車マスが満車の場合に、ご利用いただける駐車マスです。
- 「兼用」の駐車マスに小型車が1台駐車していると、大型車は駐車することができません。より多くのお客さまが駐車できるよう、小型車の縦列駐車にご協力をお願いいたします。



小型車が1台駐車している場合、  
大型車は駐車することができません



より多くのお客さまが駐車できるよう、  
小型車の縦列駐車にご協力をお願いいたします